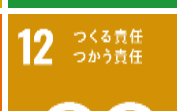
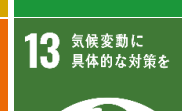


マテリアリティから見た「CSRロードマップ 2025」

マテリアリティ	「CSRロードマップ 2025」の主な取り組み	「CSRロードマップ 2025」で 設定したKPI	2023年度	2024年度	2025年度	2023年度活動状況			関連する 「CSRガイドライン」 (GL)	関連するSDGs
			目標値			実績値	評価 ^{*1}	関連する取り組み		
気候変動対策の加速	GHG ^{*2} 排出量売上収益原単位を削減します。	3- ㊥ GHG排出量売上収益原単位の削減率	2013年度比40%（2025年度）			36% ^{*3、4}	－	省エネおよび温室効果ガス排出削減	GL3 「安全・防災・環境保全」	7エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9産業と技術革新の 基盤をつくろう 13気候変動に 具体的な対策を
		3- ㊦ 太陽光発電設備能力の増加率	2022年度比10%（2025年度）			101%	－	省エネおよび温室効果ガス排出削減		
	用水使用量売上収益原単位を削減します。	3- ㊧ 用水使用量売上収益原単位の削減率	2013年度比40%（2025年度）			35.3% ^{*3}	－	水資源管理の取り組み		
	高い廃棄物リサイクル率を目指します。	3- ㊨ 廃棄物リサイクル率	86%以上	87%以上	87%以上	87.0%	○	廃棄物削減への取り組み		
	各国・地域の規制や周辺環境との調和に配慮し、各拠点の緑化を推進します。	*5						生物多様性への取り組み		
	サステナビリティイノベーション事業 ^{*6} の売上収益拡大を目指します。	7- ㊀ サステナビリティイノベーション事業の 売上収益	1兆6,000億円（2025年度）			1兆3,115 億円	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト	GL7 「事業を通じた社会的課題 解決への貢献」	
	バリューチェーンへのCO ₂ 削減貢献量 ^{*7} を拡大します。	7- ㊁ バリューチェーンへのCO ₂ 削減貢献量	2013年度比15倍（2025年度）			10.3倍	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト		
	水処理貢献量 ^{*8} を拡大します。	7- ㊂ 水処理貢献量	2013年度比2.9倍（2025年度）			2.7倍	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト		
	低炭素・循環型社会の実現を目指し、様々な製品の研究・技術開発を推進していきます。							循環型社会の実現に向けた取り組み		
プラスチック製品のバイオマス活用・リサイクル活動推進、再生可能エネルギー・水素の普及、水資源の再利用などに貢献していきます。							循環型社会の実現に向けた取り組み			
循環型社会実現への貢献	GHG排出量売上収益原単位を削減します。	3- ㊥ GHG排出量売上収益原単位の削減率	2013年度比40%（2025年度）			36.0%	－	省エネおよび温室効果ガス排出削減	GL3 「安全・防災・環境保全」	9産業と技術革新の 基盤をつくろう 12つくる責任 つかう責任 14海の豊かさを 守ろう
		3- ㊦ 太陽光発電設備能力の増加率	2022年度比10%（2025年度）			101%	－	省エネおよび温室効果ガス排出削減		
	用水使用量売上収益原単位を削減します。	3- ㊧ 用水使用量売上収益原単位の削減率	2013年度比40%（2025年度）			35.3%	－	水資源管理の取り組み		
	高い廃棄物リサイクル率を目指します。	3- ㊨ 廃棄物リサイクル率	86%以上	87%以上	87%以上	87.0%	○	廃棄物削減への取り組み		
	サステナビリティイノベーション事業の売上収益拡大を目指します。	7- ㊀ サステナビリティイノベーション事業の 売上収益	1兆6,000億円（2025年度）			1兆3,115 億円	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト	GL7 「事業を通じた社会的課題 解決への貢献」	
	バリューチェーンへのCO ₂ 削減貢献量を拡大します。	7- ㊁ バリューチェーンへのCO ₂ 削減貢献量	2013年度比15倍（2025年度）			10.3倍	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト		
	水処理貢献量を拡大します。	7- ㊂ 水処理貢献量	2013年度比2.9倍（2025年度）			2.7倍	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト		
	低炭素・循環型社会の実現を目指し、様々な製品の研究・技術開発を推進していきます。							循環型社会の実現に向けた取り組み		
	プラスチック製品のバイオマス活用・リサイクル活動推進、再生可能エネルギー・水素の普及、水資源の再利用などに貢献していきます。							循環型社会の実現に向けた取り組み		

マテリアリティから見た「CSRロードマップ 2025」

マテリアリティ	「CSRロードマップ 2025」の主な取り組み	「CSRロードマップ 2025」で 設定したKPI	2023年度	2024年度	2025年度	2023年度活動状況			関連する 「CSRガイドライン」 (GL)	関連するSDGs
			目標値			実績値	評価 ^{*1}	関連する取り組み		
自然環境の回復への貢献	GHG排出量売上収益原単位を削減します。	3- 5 GHG排出量売上収益原単位の削減率	2013年度比40%（2025年度）			36.0%	－	省エネおよび温室効果ガス排出削減	GL3 「安全・防災・環境保全」	2 無駄を ゼロに  3 すべての人に 健康と福祉を  6 安全な水とトイレ を世界中に  9 産業と技術革新の 基盤をつくろう  12 つくる責任 つかう責任  14 海の豊かさを 守ろう  15 陸の豊かさも 守ろう 
		3- 6 太陽光発電設備能力の増加率	2022年度比10%（2025年度）			101%	－	省エネおよび温室効果ガス排出削減		
	用水使用量売上収益原単位を削減します。	3- 7 用水使用量売上収益原単位の削減率	2013年度比40%（2025年度）			35.3%	－	水資源管理の取り組み		
	高い廃棄物リサイクル率を目指します。	3- 8 廃棄物リサイクル率	86%以上	87%以上	87%以上	87.0%	○	廃棄物削減への取り組み		
	VOC ^{*9} 大気排出量を削減します。	3- 9 VOC大気排出量の削減率	2000年度比 70%以上	2000年度比 72%以上	2000年度比 72%以上	72.5%	○	大気汚染・水質汚染防止の取り組み		
	各国・地域の規制や周辺環境との調和に配慮し、各拠点の緑化を推進します。							生物多様性への取り組み		
	サステナビリティイノベーション事業の売上収益拡大を目指します。	7- 1 サステナビリティイノベーション事業の 売上収益	1兆6,000億円（2025年度）			1兆3,115 億円	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト	GL7 「事業を通じた社会的課題 解決への貢献」	
	バリューチェーンへのCO ₂ 削減貢献量を拡大します。	7- 2 バリューチェーンへのCO ₂ 削減貢献量	2013年度比15倍（2025年度）			10.3倍	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト		
	水処理貢献量を拡大します。	7- 3 水処理貢献量	2013年度比2.9倍（2025年度）			2.7倍	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト		
	低炭素・循環型社会の実現を目指し、様々な製品の研究・技術開発を推進していきます。							循環型社会の実現に向けた取り組み		
	プラスチック製品のバイオマス活用・リサイクル活動推進、再生可能エネルギー・水素の普及、水資源の再利用などに貢献していきます。							循環型社会の実現に向けた取り組み		
	PPE ^{*10} 用部材・製品の供給とその高度化、空気や水などの衛生環境を守るための素材供給を通じて、感染症を含む公衆衛生上のリスク対策に貢献します。							サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト		
健康で衛生的な生活への 貢献	サステナビリティイノベーション事業の売上収益拡大を目指します。	7- 1 サステナビリティイノベーション事業の 売上収益	1兆6,000億円（2025年度）			1兆3,115 億円	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト	GL7 「事業を通じた社会的課題 解決への貢献」	2 無駄を ゼロに  3 すべての人に 健康と福祉を  9 産業と技術革新の 基盤をつくろう  13 気候変動に 具体的な対策を 
	PPE用部材・製品の供給とその高度化、空気や水などの衛生環境を守るための素材供給を通じて、感染症を含む公衆衛生上のリスク対策に貢献します。							サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト		
	女性の積極的活用と女性が働きやすい職場環境の整備に取り組んでいきます。							ダイバーシティ推進への取り組み		
	長時間労働を削減します。	8- 6 法定外労働時間45時間／月超過社員数の 低減	対前年比 低減	対前年比 低減	対前年比 低減	対前年比 81.1%	○	社員が働きやすい企業風土づくり	GL8 「人権推進と人材育成」	
	組合員年休取得を促進します。	8- 7 組合員年休取得率	90%	90%	90%	95.7%	○	社員が働きやすい企業風土づくり		

マテリアリティから見た「CSRロードマップ 2025」

マテリアリティ	「CSRロードマップ 2025」の主な取り組み	「CSRロードマップ 2025」で 設定したKPI	2023年度	2024年度	2025年度	2023年度活動状況			関連する 「CSRガイドライン」 (GL)	関連するSDGs
			目標値			実績値	評価 ^{*1}	関連する取り組み		
ステークホルダーとの 共創と対話による発展	「東レ理念」を積極的に発信し、社内への教育・浸透を図っていきます。							社員とのコミュニケーション	GL6 「コミュニケーション」	1貧困をなくそう 2飢餓をゼロに 3すべての人に健康と福祉を 4質の高い教育をみんなに 5ジェンダー平等を 実現しよう 6安全な水とトイレ を世界中に 7エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8働きがいも 経済成長も 9産業と技術革新の 基盤をつくらう 10人や国の不平等 をなくそう 11住み続けられる まちづくりを 12つくる責任 つかう責任 13気候変動に 具体的な対策を 14海の豊かさ を守ろう 15陸の豊かさ を守ろう 16平和と公正を すべての人に 17パートナーシップで 目標を達成しよう
	オウンドメディア（ウェブサイト、SNS など）による情報発信の強化を図ります。	6-❶ コーポレートサイト閲覧件数	100万PV/月	100万PV/月	100万PV/月	112万PV/月	○	ウェブサイトによるコミュニケーション		
	お客様のニーズを汲み取り、お客様満足度の向上に努めます。							お客様とのコミュニケーション		
	社員との意見交換を充実させ、課題や問題点を把握してCSRの取り組みに反映させていきます。	6-❷ 社内意見交換の面談実施進捗率	(1巡目) 100%完	(2巡目) 30%	(2巡目) 60%	100%	○	社員とのコミュニケーション		
	経営層による情報発信の機会を拡充して、株主・投資家とのコミュニケーションを促進します。	6-❸ 経営層が参加する主要投資家面談件数	延べ120件	延べ120件	延べ120件	延べ197件	○	株主・投資家の皆様とのコミュニケーション		
	マスメディアとのコミュニケーションを強化します。	6-❹ プレスリリース件数	200件	200件	200件	178件	△	マスメディアとのコミュニケーション		
	サステナビリティイノベーション事業の売上収益拡大を目指します。	7-❶ サステナビリティイノベーション事業の 売上収益	1兆6,000億円（2025年度）			1兆3,115 億円	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト	GL7 「事業を通じた社会的課題 解決への貢献」	
	バリューチェーンへのCO ₂ 削減貢献量を拡大します。	7-❷ バリューチェーンへのCO ₂ 削減貢献量	2013年度比15倍（2025年度）			10.3倍	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト		
	水処理貢献量を拡大します。	7-❸ 水処理貢献量	2013年度比2.9倍（2025年度）			2.7倍	－	サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト		
	低炭素・循環型社会の実現を目指し、様々な製品の研究・技術開発を推進していきます。							循環型社会の実現に向けた取り組み		
	プラスチック製品のバイオマス活用・リサイクル活動推進、再生可能エネルギー・水素の普及、水資源の再利用などに貢献していきます。							循環型社会の実現に向けた取り組み		
	PPE用部材・製品の供給とその高度化、空気や水などの衛生環境を守るための素材供給を通じて、感染症を含む公衆衛生上のリスク対策に貢献します。							サステナビリティイノベーション事業拡大プロジェクト		

マテリアリティから見た「CSRロードマップ 2025」

マテリアリティ	「CSRロードマップ 2025」の主な取り組み	「CSRロードマップ 2025」で 設定したKPI	2023年度	2024年度	2025年度	2023年度活動状況			関連する 「CSRガイドライン」 (GL)	関連するSDGs
			目標値			実績値	評価 ^{*1}	関連する取り組み		
ステークホルダーとの 共創と対話による発展	サプライヤーに対して、「東レグループCSR調達行動指針」の遵守を要請するとともに、各社のCSRへの取り組み状況の把握に努めます。	9-❶ 「東レグループCSR調達行動指針」への同意を確認したサプライヤーの比率（社数・％）	75%以上	85%以上	90%以上	76.8%	○	東レグループのCSR調達活動	GL9 「持続可能なサプライチェーンの構築」	1貧困をなくそう 2飢餓をゼロに 3すべての人に健康と福祉を 4質の高い教育をみんなに 5ジェンダー平等を実現しよう 6安全な水とトイレを世界中に 7エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう
	環境や人権への負の影響を生じさせるリスクの高い領域を特定し、特定したリスクに対して予防・低減などの措置を行うサプライチェーンデューデリジェンスを進めます。	9-❷ サプライチェーンデューデリジェンスの実施率（件数・％）	60%以上（2024年度）			90%以上	— ^{*11}	— 東レグループのCSR調達活動		
	紛争鉱物やパーム油などに関して持続可能性に配慮した調達を推進します。	9-❸ 環境保全・人権尊重に配慮したパーム油を使用している油剤などの比率（購買金額、％）	70%以上（2024年度）			90%以上	— ^{*12}	— 東レグループのCSR調達活動		
	物流におけるCO ₂ 排出量原単位を削減します。	9-❹ 物流におけるCO ₂ 排出量原単位の前年対比削減率	1%	1%	1%	11.5%	○	東レグループの物流活動		
	台風や豪雨などの自然災害による物流へのリスクを継続的に調査・把握し、リスクの低減に努めます。	9-❺ 主要社外在庫拠点の内、自然災害リスクを評価し、重大なリスクへの対策が完了した拠点の比率（拠点数・％）	60%以上	75%以上	90%以上	59%	△	東レグループの物流活動		
	物流に関わる環境負荷の低減と品質向上に継続的に取り組みます。					東レグループの物流活動				
	「ホワイト物流」 ^{*13} の自主行動宣言に基づき、働き方改革などに取り組む物流事業者の積極的活用など、持続可能な物流の実現を目指していきます。					東レグループの物流活動				
	一定の規模を維持しながら社会貢献活動を推進していきます。	10-❶ 社会貢献活動支出額比率〔直近6年間の平均支出額対比〕	100%以上	100%以上	100%以上	124%	○	良き企業市民としての社会貢献活動 2023年度の実績（データ編）	GL10 「良き企業市民としての社会貢献活動」	10人や国の不平等をなくそう 11住み続けられるまちづくりを 12つくる責任つかう責任 13気候変動に具体的な対策を 14海の豊かさを守ろう 15陸の豊かさを守ろう 16平和と公正をすべての人に 17パートナーシップで目標を達成しよう
	地域社会やNPOなどのステークホルダーとの協働による社会貢献活動を推進していきます。					良き企業市民としての社会貢献活動 2023年度に実施した主な活動				
	各拠点が継続して自発的かつ積極的に社会貢献活動を企画・実施できるよう推進します。	10-❷ 社会貢献活動の実施件数	2,500件以上	2,500件以上	2,500件以上	2,173件	△	良き企業市民としての社会貢献活動 2023年度の実績（データ編）		
	出張授業や企業見学を通じて、子どもたちの興味や関心を引き出すような理科教育や環境教育、キャリア教育などの教育支援活動を展開し、将来世代の育成に貢献します。	10-❸ 出張授業やキャリア教育などの教育支援活動の受益者数	15,000人以上	15,000人以上	15,000人以上	18,816人	○	良き企業市民としての社会貢献活動 2023年度の実績（データ編）		
	東レグループの社員に対して社会貢献の意義を浸透させるための教育を行います。					良き企業市民としての社会貢献活動 2023年度に実施した主な活動				
	国内外の科学振興財団の活動を通じて、科学技術の向上発展と理科教育の振興を支援していきます。					良き企業市民としての社会貢献活動 2023年度に実施した主な活動				
	東レグループが取り組んだ社会貢献活動を、ウェブサイトなどを通じて社内外に開示し、ステークホルダーに共有していきます。					良き企業市民としての社会貢献活動 2023年度に実施した主な活動				

マテリアリティから見た「CSRロードマップ 2025」

マテリアリティ	「CSRロードマップ 2025」の主な取り組み	「CSRロードマップ 2025」で 設定したKPI	2023年度	2024年度	2025年度	2023年度活動状況			関連する 「CSRガイドライン」 (GL)	関連するSDGs
			目標値			実績値	評価*1	関連する取り組み		
安全・防災の徹底	重大災害件数ゼロを目指します。	3-❶ 重大災害件数	0件	0件	0件	1件	×	労働安全・防災活動	GL3 「安全・防災・環境保全」	3すべての人に健康と福祉を 6安全な水とトイレを世界中に 8働きがいも経済成長も 11住み続けられるまちづくりを 12つくる責任つかう責任 13気候変動に具体的な対策を 16平和と公正をすべての人に
	世界最高水準の安全管理レベルを達成します。	3-❷ 世界最高水準の安全管理レベル達成 (目安：休業度数率0.05以下)	0.05以下	0.05以下	0.05以下	0.40	×	労働安全・防災活動		
	従業員の安全と健康を確保し、安全衛生水準の向上を図るため、快適な職場環境の整備に取り組みます。							労働安全・防災活動		
	火災・爆発事故件数ゼロを目指します。	3-❸ 火災・爆発事故件数	0件	0件	0件	1件	×	労働安全・防災活動		
	環境事故件数ゼロを目指します。	3-❹ 環境事故件数	0件	0件	0件	4件	×	環境リスクマネジメント		
倫理・コンプライアンスの徹底	重大な法令・通達違反件数ゼロを目指します。	2-❶ 重大な法令・通達違反件数	0件	0件	0件	0件	○	一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成	GL2 「倫理とコンプライアンス」	16平和と公正をすべての人に
	自由・公正・透明な市場競争に基づく適正な取引を行います。							一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成		
	反社会勢力とは一切関係を遮断し、毅然とした対応を徹底します。							一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成		
	法務内部監査を実施し、監査指摘事項を改善します。	2-❷ 法務内部監査の実施率（社数・％）	・東レ（株）：100％ ・国内関係会社、海外関係会社：リスクを有する会社を重点的に実施			100%	○	一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成		
	内部通報制度を適切に運用していきます。							一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成		
	「倫理・コンプライアンス行動規範」を周知徹底していきます。							一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成		
	重要法令、その他コンプライアンスに関する情報発信・教育を行います。	2-❸ 重要法令、その他コンプライアンスに関する情報発信・教育の実施率（社数・％）	100%	100%	100%	100%	○	一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成		
製品の品質と安全性の更なる向上	品質保証コンプライアンス教育の実施を徹底します。	4-❶ 品質保証コンプライアンス教育の実施率（人数・％）	100%	100%	100%	100%	○	品質保証・製品安全への取り組み	GL4 「製品の品質と安全」	12つくる責任つかう責任
	東レグループ全体の品質保証体制の改善の推進と継続的な維持・向上のための監査機能を強化し、実効性を確認する監査を実施します。	4-❷ 監査実施率（社数・％）	100%	100%	100%	100%	○	品質保証・製品安全への取り組み		
	東レグループ全体で、不正防止機能を付与した品質データ管理システムの適用拡大を推進します。							品質保証・製品安全への取り組み		
	各事業において、品質保証活動における審議／承認・管理システムの構築を推進します。							品質保証・製品安全への取り組み		
	製品事故件数ゼロを目指します。	4-❸ 製品事故件数	0件	0件	0件	1件	×	品質保証・製品安全への取り組み		

マテリアリティから見た「CSRロードマップ 2025」

マテリアリティ	「CSRロードマップ 2025」の主な取り組み	「CSRロードマップ 2025」で 設定したKPI	2023年度	2024年度	2025年度	2023年度活動状況			関連する 「CSRガイドライン」 (GL)	関連するSDGs
			目標値			実績値	評価 ^{*1}	関連する取り組み		
ガバナンスの強化	取締役会において、定期的に「東レグループ事業戦略論議 ^{*14} 」を実施します。	1-❶ 取締役会での「東レグループ 事業戦略論議」の実施回数	8回	8回	8回	8回	○	業務の適切性と透明性の確保	GL1 「企業統治」	11住み続けられるまちづくりを 13気候変動に具体的な対策を 16平和と公正をすべての人に
	グループ全体のガバナンスの実効性と子会社における機動的な意思決定を両立させる観点から、グループ各社の業務執行などに対する適切な関与の在り方を検討していきます。							業務の適切性と透明性の確保		
	取締役および監査役が責務（執行を除く）に必要な知識を習得し、その役割を適切に果たすのに必要な研修等の機会を、外部プログラムも活用して拡充します。							業務の適切性と透明性の確保		
	実効性のある内部統制システムの運用を図ります。	1-❷ 内部統制システム基本方針の運用状況に関する取締役会評価結果	90%	90%	90%	96%	○	業務の適切性と透明性の確保		
	平時のリスク管理は、次の2つのプロセスでリスクを設定し、対処します。 ① 定期的（3年間1 サイクル）なリスク評価に基づき設定する「東レグループ 優先対応リスク」 ② 定常的な国内外リスク動向の注視・調査・分析に基づき設定する「特定リスク」							リスクマネジメントの取り組み状況	GL5 「リスクマネジメント」	
	有事（危機発生時）の対応は、リスクマネジメント規程に基づき適切に行います。							リスクマネジメントの取り組み状況		
	「東レグループ優先対応リスク」への対応推進状況についてフォローします。							リスクマネジメントの取り組み状況		
	関係各社の内部統制について、実行状況をフォローします。	5-❶ 内部統制評価チェックリストの関係会社での自己点検とその結果のフォロー実施率（社数・％）	35%	70%	100%	35%	○	リスクマネジメントの取り組み状況		
	海外における平時の危機管理について、各国・地域の現地危機管理委員会との連携を強化します。							リスクマネジメントの取り組み状況		
	情報セキュリティについて、サイバー攻撃・情報漏えいなどのリスクに対して、東レグループ全体でのリスク低減を推進します。	5-❷ 関係会社の情報セキュリティ 評価／リスク低減の実施率（社数・％）	35%	70%	100%	35%	○	情報セキュリティリスクへの取り組み		
	リスクマネジメント教育を実施します。							リスクマネジメントの取り組み状況		

マテリアリティから見た「CSRロードマップ 2025」

マテリアリティ	「CSRロードマップ 2025」の主な取り組み	「CSRロードマップ 2025」で 設定したKPI	2023年度	2024年度	2025年度	2023年度活動状況			関連する 「CSRガイドライン」 (GL)	関連するSDGs
			目標値			実績値	評価 ^{*1}	関連する取り組み		
持続可能な サプライチェーンの構築	サプライヤーに対して、「東レグループCSR調達行動指針」の遵守を要請するとともに、各社のCSRへの取り組み状況の把握に努めます。	9-❶ 「東レグループCSR調達行動指針」への同意を確認したサプライヤーの比率（社数・％）	75%以上	85%以上	90%以上	76.8%	○	東レグループのCSR調達活動	GL9 「持続可能なサプライチェーンの構築」	
	環境や人権への負の影響を生じさせるリスクの高い領域を特定し、特定したリスクに対して予防・低減などの措置を行うサプライチェーンデューデリジェンスを進めます。	9-❷ サプライチェーンデューデリジェンスの実施率（件数・％）	60%以上 (2024年度)		90%以上	—	—	東レグループのCSR調達活動		
	紛争鉱物やパーム油などに関して持続可能性に配慮した調達を推進します。	9-❸ 環境保全・人権尊重に配慮したパーム油を使用している油剤などの比率（購買金額、％）	70%以上 (2024年度)		90%以上	—	—	東レグループのCSR調達活動		
	物流におけるCO ₂ 排出量原単位を削減します。	9-❹ 物流におけるCO ₂ 排出量原単位の前年対比削減率	1%	1%	1%	11.5%	○	東レグループの物流活動		
	台風や豪雨などの自然災害による物流へのリスクを継続的に調査・把握し、リスクの低減に努めます。	9-❺ 主要社外在庫拠点の内、自然災害リスクを評価し、重大なリスクへの対策が完了した拠点の比率（拠点数・％）	60%以上	75%以上	90%以上	59%	△	東レグループの物流活動		
	物流に関わる環境負荷の低減と品質向上に継続的に取り組みます。							東レグループの物流活動		
	「ホワイト物流」の自主行動宣言に基づき、働き方改革などに取り組む物流事業者の積極的活用など、持続可能な物流の実現を目指していきます。							東レグループの物流活動		
人権の尊重と 多様な人材の活躍推進	人権教育・研修を実施します。	8-❶ 人権教育・研修の実施率（社数・％）	100%	100%	100%	100%	○	人権の尊重に関わる活動報告	GL8 「人権推進と人材育成」	
	法定障がい者雇用率を達成します。	8-❷ 法定障がい者雇用率の達成率（社数・％）	100%	100%	100%	59.4%	△	ダイバーシティ推進への取り組み		
	東レグループ各社に内部通報・相談窓口を設置し、問題が発生した場合には迅速かつ適切に対処し、人権への負の影響の防止または軽減につなげるよう努めます。							人権の尊重に関わる活動報告		
	基幹人材のキャリア形成の取り組みとして、人事情報システムを活用した「キャリアシート」を実施しており、その運用を強化していきます。	8-❸ 人事情報システムを活用した基幹人材のキャリア形成の取組み（「キャリアシート」の実施状況）（社員数・％）	対前年比 対象拡大	対前年比 対象拡大	対前年比 対象拡大	対前年比 101%	○	新しい価値を創造する人材の確保と育成		
	海外ナショナルスタッフの基幹人材を計画的に確保、育成、登用していきます。							新しい価値を創造する人材の確保と育成		
	女性の積極的活用と女性が働きやすい職場環境の整備に取り組んでいきます。							ダイバーシティ推進への取り組み		
	仕事と家庭の両立支援策の利用促進・運用向上に取り組んでいきます。	8-❹ 育児休職からの復職率	100%	100%	100%	99%	△	社員が働きやすい企業風土づくり		
		8-❺ 男性の育児休職と育児目的休暇の取得率	対前年比 向上	対前年比 向上	対前年比 向上	対前年比 106%	○			
	長時間労働を削減します。	8-❻ 法定外労働時間45時間／月超過社員数の低減	対前年比 低減	対前年比 低減	対前年比 低減	対前年比 81.1%	○	社員が働きやすい企業風土づくり		
	組合員年休取得を促進します。	8-❼ 組合員年休取得率	90%	90%	90%	95.7%	○	社員が働きやすい企業風土づくり		

注釈：*1：評価：○ 目標達成 △ 目標に対し50％以上達成 × 目標に対し50％未満の達成 — 当年度は評価しない

*2：greenhouse gas（温室効果ガス）

*3：基準年度である2013年度の値は、2014年度以降に東レグループに加わった会社分を含めて算出しています。

*4：2022年度までは国内・海外関係会社のGHG排出量および売上収益に当社の出資比率を乗じて算定していましたが、2023年度からは、国際的な算定ルールであるGHGプロトコルに則った、経営支配力を乗じた算定方法に変更しています。

*5：：「CSRロードマップ 2025」の主な取り組みのうち、KPIを設定していないもの。

*6：「東レグループ サステナビリティ・ビジョン」の実現に貢献する事業・製品群。

*7：製品のバリューチェーンを通じたライフサイクル全体でCO2排出量削減効果を、日本化学工業協会およびICCA（国際化学工業協会協議会）のガイドラインに従い、東レが独自に算出。

*8：水処理膜により新たに創出される年間水処理量。各種水処理膜（RO/UF/MBR）ごとの1日当たりの造水可能量に売上本数を乗じて算出。

*9：volatile organic compounds（揮発性有機化合物）

*10：personal protective equipment（個人用防護具）

*11：2024年度の目標に向けて取り組みを進めているため、2023年度の実績値はありません。2023年度は、想定される高リスク課題、国・地域や業種を決定し、該当するサプライヤーの特定や調査の準備を進めています。

*12：2024年度の目標に向けて取り組みを進めているため、2023年度の実績値はありません。パーム油を使用している油剤の主要サプライヤー（2023年度の購買金額の90％以上となるよう対象を設定）に対して調査を計画しています。

*13：トラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的とした運動。

*14：「東レグループ事業戦略論議」において、サステナビリティへの取り組みを包含する中期経営課題の進捗、および事業運営の方向性を確認。